

病院長就任条件に
地方勤務の経験を

厚労省提案

地方の医師不足の解消策として、厚生労働省は8日、地方での勤務経験がある医師を認定する制度の創設を有識者会議に提案した。地域医療を支える病院の院長の就任に認定が必要となる仕組みにして、医師に地方勤務を促す考えだ。来年の通常国会に提出する医療法改正案に盛り込むことを目指している。

認定制度では、医師が不足すると推計された地域の

医療機関で、数か月～数年働いた医師に厚労省がお墨付きを与える。若手医師が研修の一環で地方に赴任したり、ベテラン医師が都市

部から赴任したりするケースが想定される。認定への意欲を高めるため、厚労省は、全国約550の地域医療支援病

院などの院長の要件とする方向。医師が認定を名刺に表記できるようにもする。